

# セアカゴケグモに注意

国内には生息していなかったクモですが、平成7年に大阪府内で初めて発見され、その後、日本各地で見つかり、すでに広域に生息していることが確認されています。最近では、三田市内でも発見されています。

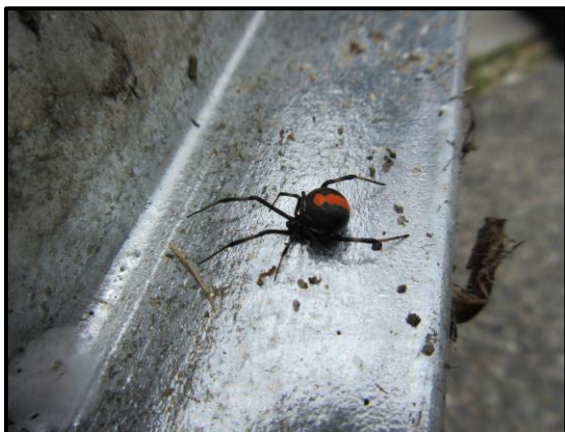
現在では、攻撃性のないおとなしいクモであることなど詳しい生態が判明していますので過度に恐れる必要はありませんが、発見した場合は下記の点にご注意ください。

## ★ 特徴

メス 約1cm、オス 約0.3~0.4cm  
腹部が丸く、裏側に赤い砂時計模様  
体全体が黒色で、背中に赤い帯状の模様（メス）  
捕食のための毒性をもつ（メス）  
暖かくなると活動をはじめますが、寒くなると活動は鈍くなります。



卵のう 直径約1~1.5cm、乳白色の球形



## ★ 生息場所

- ・排水溝の側面や側溝盤（グレーチング）の裏
- ・屋外のブロックの中
- ・墓石の隙間やくぼみなど

## ★ セアカゴケグモを見つけたら、駆除してください。※ 注意事項

- ・発見した場合は、市販の殺虫剤（ピレスロイド系）を噴霧したり、踏み潰すことにより駆除できます。（卵のう内の卵・幼虫は、薬剤を吹き付けても生きているので、踏み潰すなどが効果的です。）
- ・攻撃的なクモではないので、素手で触らない限り、咬まれることはありません。セアカゴケグモを発見しても、素手で触ったり捕まえたりしないようにしましょう。

## ★ 咬まれてしまったら

- ・万が一咬まれてしまったら、咬まれた部位をすぐに水で洗って清潔にして、医療機関の診察を受けましょう（可能であれば咬んだクモを殺して持参すると、より適切な治療につながります）。